令和2年11月発行 第52号 発行：京都府立林業大学校（隔月発行）

京林大だより

No.52

絵：卒業生 熊走君

卒業後の就職に向けた実践学習
２年生キャップストーン研修

各地の事業体で、伐倒・製材・機械作業など様々な実践研修を受ける京林大生

研修後の学生の声

様々な条件での現場に対応できる知識（引き出し）や柔軟性の重要性を学んだ。

広葉樹・北山丸太にたくさん触れることができ、特徴を学べた！川下について勉強できた。

玉切りの技術が向上したような気がします。毎日が勉強になりました。

間伐材の無駄のない利用方法、地域にあった資源の利用について学ぶことができた。

京林大のキャップストーン研修は、２年生が２ヶ月間に２つの事業体で研修を受けるもので、講義では学ぶことが難しい実践技術や社会ルールなどを学びます。研修を受ける事業体は、基本的に学生自身が業種を含め自分で見つけ、事業体の全面的な御協力により研修を実施することができます。今回は京都府内外26の事業体（森林組合、林業事業体、製材所、公益財団法人など）にお世話になり、無事研修を終えることができました。研修生を受け入れていただきました事業体のみなさま、本当にお世話になり、ありがとうございました。

戻ってきた学生は、これまで学んできた技術がどの程度通用するのかを知るとともに様々なことを吸収、また自らの課題を見つけてきたようです。その内容を他の学生や１年生に伝えるため報告会も行いました。２年生が感じたことは１年生に引き継つがれ、次年度以降の研修にもつながっていくことと思います。

報告会の様子

「第５回林大祭」のお知らせ

林大生・教職員と、地域や林業関係者の皆様との懇親を深めることを目的に、今年も「林大祭」を開催します。

木を使ったゲームや木工教室、各種模擬店など、お子様にも楽しんでいただけるコーナーがたくさんありますので、ご家族おそろいで林業大学校にお越しください。

・日 時：12月6日（日） 10時～16時
・場 所：京都府立林業大学校
・内 容：模擬店・木工教室・森のアトラクション
　　木工品の販売　など

【昨年の様子】
ロープ製の遊具

今月の授業参観

『森林計測実習：ドローン』

一般的には、上空からの撮影等、映像分野で活躍しているドローンですが、森林・林業の現場でも同様に、土砂災害現場のような人が直接いけない場所の撮影に活用されています。

また、測量分野では機体に搭載されたGNSS（衛星測位システム）の位置情報を所得することで、座標を割り出し距離や面積を測量をすることができます。

このように活躍しているドローンを扱うために、機体の構造や運用する上で必要な法律を学び、実際に飛行操作の練習も行いました。

ドローンを初めて操作した学生も、10分も触れば自由に動かすことができていました。こういったラジコン操作は学生の方が上達が早いのかもしれません。

ドローンの飛行練習

校長室より

由緒ある地の京林大

校長　只木良也

地域の官民諸団体が連携して、京林大を後援・援助して下さる林大地域連携協議会が、10月2日、和知駅前ふれあいセンターで開催。本会の樋口会長(森林組合長)、太田京丹波町長、私(林大校長)、開会挨拶の後、コロナ騒ぎで、長時間の会議は自粛。林大現況報告・質疑主体で、各団体の林大向け諸活動現況は簡略化。私は、開会の挨拶で以下のようなことを申し上げました。

日頃の地元の皆様の林大サポートに感謝の後、京丹波町和知支所の玄関口に、通路横断の大きな文字で公示されている標語、
『日本のふるさと 自給自足的循環社会 京丹波』
を取り上げ、これだけでも京林大をこの丹波の国に置いたことに意義ありと感じたと述べました。
その内容は以下の通り。

都会型の消費社会、それが文化・文明と考えた時代は終わり、かつての農山村型の循環社会こそ、これからの持続的人間社会のモデルという認識が、”SATOYAMA”というローマ字書きとともに世界に広まったのが、2010年生物多様性世界会議(於名古屋)でした。そこでは、自然からの産物は「生態系サービス」と名付け、それは物質資源だけでなく、環境資源、文化資源の三本立てになっています。

これは何も「お爺さんは山へ柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に」といった生活に復帰せよということではありません。それをモデルに、自然の法則に従った循環型社会を学び、組み立てることなのです。人間社会永続のために・・・。

丹波の国は、里山農山村文化の日本の代表ともいうべき歴史を持つ土地です。その地に創設された京林大は、循環型社会尊重は当然のこと、それを教育基盤の一つとした森林教育の場です。皆様方、由緒正しい格好の地に生まれた京林大を、これからも今まで同様、応援し続けてください。よろしく。

編集・発行 京都府立林業大学校 〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄　TEL.0771-84-2401　FAX.0771-84-0797
ホームページ：http://www.pref.kyoto.jp/kyorindai/　E-Mail: kyo-rindai@pref.kyoto.lg.jp